

# ブログ等に見られる 「{動名詞(VN)／感動詞相当句}+です」文について —「～に感謝です」「～をよろしくです」の意味・機能—

鈴木 智美

【キーワード】 動名詞 (Verbal Noun)、感動詞相当句、名詞文、ブログ、談話、構文文法 (Construction Grammar)

## 1 本稿の目的および分析の対象

本稿の目的は、新聞の投書欄や雑誌のエッセイ、あるいはウェブ上のブログ<sup>1</sup>記事等において、しばしば目にする以下のような「{動名詞(VN)／感動詞相当句}+です」文の意味・機能について考察することである。(以下、例文はいずれも実例を採取したものである。下線および[中略]は引用者による。ブログについてはURLと記事の日付を例文末尾に記す。)

- (1) 夫が65歳で定年退職して、もう2年がたった。今は週2回、アルバイトに行っている。その夫がこの秋、栗の渋皮煮を作ってくれた。[中略]口に含むと、しつとりと甘くて、思わず笑みがこぼれる。こんなささやかなことだけど、とてもうれしい。一生懸命に作ってくれた夫に感謝です。(2009年12月9日「ぷらざ」(読者投書欄)読売新聞)
- (2) 一見、カツオ節や昆布の味しかしなさそうなシンプルお出汁に見えますが、いぎ啜ってみると伊勢海老ならではの濃密な旨味エキスがふんだんに溶け込んでおり、何とも贅沢で複雑な味わいがするのが印象的でした。正直、伊勢海老の事を「普通の海老でも変わらないんじゃないじゃ…」と甘くみていた事を反省です(車えびとロブスターのいい所取りってイメージの味です)。

(<http://luckyclover7.blog27.fc2.com/blog-entry-637.html>) (2010年10月25日)

<sup>1</sup> ブログ (blog) とは、ウェブ上に公開されているサイトの一種で、公的なホームページ等に比べると、発信者個人・グループが日記形式で気軽にかつ頻繁に情報を更新していくことのできるタイプの情報発信サイトである。画像や動画を伴う場合もある。時系列に沿った形式であることから、日記タイプで作成される場合が多く見られ、使用される語彙も日常的であったり、話し言葉をそのまま文字化しているような文体が見られるなどの特徴がある。

(3) 勢いに任せてついでにツイッターも始めてみたが、これも特に名乗らずにやっている。一日に数件は投稿しているが、こちらに関してはフォローしている読者は今のところ誰もいないようで、ただ本当に独り言を呟いているだけである。[中略] 僕もこのままフォロー無しの状態が続くと寂しいので、ひょっとしたら山手線あたりでリアルツイッターとしてデビューする日が来るかもしれないが、その時は色々な意味で皆さんのフォローをよろしくです。(「ブログデビュー 劇団ひとり」『週刊文春』2010年6月3日号)

(1) は、新聞の投書欄に掲載された一般読者からの投稿記事である。投書の最後は「夫に{感謝します/感謝したいです}」等ではなく、格助詞「に」を伴う補語(「夫に」)の次に「動名詞(VN)<sup>2</sup>+です」が続き、「夫に感謝です」という形の文で締めくくられている。(2) はブログに公開されている記事から採取したもので、格助詞「を」を伴う補語(「甘くみていた事を」)の次には「反省します/反省したいです」等ではなく、やはり「動名詞(VN)+です」の形が続き、「甘くみていた事を反省です」という動名詞(VN)による名詞述語文が現れている。

(3) は週刊誌の連載エッセイ記事の一部である。エッセイの最後の文は、やはり「皆さんのフォローを{よろしく願います/よろしく頼みます}」等ではなく、格助詞「を」を伴う補語(「皆さんのフォローを」)の次には「感動詞相当句<sup>3</sup>+です」の形が続き、「皆さんのフォローをよろしくです」という文となっている。

「感謝です」「反省です」「よろしくです」は、いずれも文末に判定詞「です」を伴ってはいるが、「を/に」等の格助詞を伴う補語が観察され、名詞文としては特異な形をとっている。ブログやエッセイなどの文章でしばしば目にする、このような「『を/に』等の格助詞を伴う補語+「動名詞(VN)/感動詞相当句」+です」という文は、どのような働きをしているのだろうか。「～に感謝です」という表現は、「～に感謝{します/したいです}」と、「～を反省です」は「～を反省{します/したいです}」と、また「～をよろしくです」は「～をよろしく{願います/頼みます}」などと言う場合と、その意味するところ、あるいは聞き手に伝えようとするところは何か異な

<sup>2</sup> 以下、動名詞を「動名詞(VN)」と表記する。ここでは、影山(1993)にならい、「する」を伴って動詞化できる表現(「散歩」「研究」「買物」「プリント」「チェック」等)を「動名詞」(verbal noun: VN)とする。

<sup>3</sup> ここでは、益岡・田窪(1992)にならい、挨拶等に用いる儀礼的な表現(「さようなら、じゃまた、おはよう、ただいま、お帰り、ありがとう、すみません」等)を「感動詞相当句」とする。

るのだろうか。

本稿では、このような表現の意味・機能を (1)～(3) で挙げた「感謝です」「反省です」「よろしくです」等を中心に、ブログを対象としたサーチエンジンを用いて実例を検索し、調べてみたい。このような文が現れる際の前後の文脈を考慮し、この表現を支えている話者の心的メカニズムは何かについて検討することにする。

## 2 ニュース報道に見られる「動名詞 (VN) / 名詞 (N) + です」文

鈴木 (2010) では、ニュース報道において新しい話題を取り上げる際に特徴的に見られる「動名詞 (VN) / 名詞 (N) + です」文（「現地を緊急取材です」「老舗料亭に問題発覚です」等）に着目し、それが「どういう構文なのか」「どのような意味を表すのか」「どういう場合に用いられるのか」について考察を行った。

この文の形式的特徴については、動名詞 (VN) / 名詞 (N) + ですの形をとること、「が / を / に」等の格助詞を持つ補語を伴うこと<sup>5</sup>、無題文であること<sup>6</sup>、過去形や否定形では現れないこと<sup>7</sup>、また、動名詞 (VN) は、漢語動名詞に限定されるわけではなく、外来語の動名詞を用いた例（「～をキープです」等）も観察されるこ

<sup>4</sup> 「日本フィギュア界のエースが復活です」「現地を緊急取材です」における「復活」「緊急取材」は、「復活する」「緊急取材する」のように「する」を伴って動詞化できるため「動名詞」と考える。一方「老舗料亭に問題発覚です」「日本最初の公立小学校でお別れ会です」等の「問題発覚」「お別れ会」は、「\*問題発覚する」「\*お別れ会する」の形にはできないため、動名詞とは考えない。

<sup>5</sup> 格助詞「が」を伴うものには「首相が緊急会見です」「3人のメダリストが生出演です」「美食王国中国から最高級のおもてなし料理が上陸です」など、格助詞「を」を伴うものに「任期途中で辞任した××市長を生直撃です」「××知事が〇〇国交相と面会し、持論を展開です」など、格助詞「に」を伴う例に「(有名若手ゴルファー) 2人の一打一打に注目です」「横綱××が大きな数字に到達です」など、格助詞「と」を伴う例に「転覆漁船の3人、家族と感動の再会です」「ファンがデザインしたユニフォームで心機一転。4位ヤクルトと対戦です」などの例が見られる。

<sup>6</sup> ニュース報道において新しい話題が取り上げられる際は、「歌手の××さんが交通事故です」「首相が緊急会見です」のような切り出し方がなされ、「歌手の××さんは交通事故です」「首相は緊急会見です」のような言い方は、通常なされない。ただし、その後観察を続けている中で「今日は天気は回復です」のような「は」を伴う例や、「もと女王(φ)、完全復活へ険しい道のりです」のように格助詞「が」を伴わず、同時に「は」も現れないという例もいくつか採取した。

<sup>7</sup> 「男女合わせて、初の金メダルを獲得です」「老舗料亭に問題発覚です」などは観察されるが、「?男女合わせて、初の金メダルを獲得でした」や「?老舗料亭に問題発覚でした」、また「?男女合わせて、初の金メダルを獲得ではありません」「?老舗料亭に問題発覚ではありません」などの形で、新しい話題が取り上げられることはない。ただし、ニュース報道において「現場××より中継でした」のような形でレポートが締めくくられる例は観察される。

となどがわかった<sup>8</sup>。

また、このような名詞文は、本稿で分析の対象として取り上げる「～に感謝です」「～を反省です」「～をよろしくです」等とは、「『を／に』等の格助詞を伴う補語＋名詞（動名詞・感動詞相当句を含む）＋です」のように、判定詞「です」を伴う形で終わるという形式的特徴が共通している。また、比較的最近多く観察されるようになったタイプの文であると思われること、テレビのニュース報道や、ウェブ上のブログ、新聞・雑誌の投書やエッセイ欄に観察されるなど、その現れる環境が特徴的に限定されていると思われることなども共通点として挙げられる。いずれも何らかの形で聞き手の存在を意識して、発話・記述を行う環境に現れていると言えるだろう。

ニュース報道に見られる「動名詞 (VN) / 名詞 (N) + です」文の意味的特徴としては、報道番組等でニュースキャスターが新しいニュースを取り上げる際に、その切り出し方として特徴的に観察されることがわかった。何らかの新しい動き・変化があったこと、あるいは事態が何らかの新しい局面を迎えたことを、新しい情報として聞き手に伝える<sup>9</sup>という機能を持っていると思われる。

### 3 先行研究の記述：「だ／です」の話し手の発話態度を伝える機能

本稿で分析の対象とする「～をよろしくです」（『を／に』等の格助詞を伴う補語＋感動詞相当句＋です）に近いと思われる文については、メイナード(2005:344-345)が「心からありがとうございます」のような文に見られる「です」（「だ」）の機能について触れている<sup>10</sup>。

<sup>8</sup> 和語の動名詞も、「大晦日から元旦にかけて、警察が正月暴走を嚴重に取り締まりです」（作例）「××で表彰までされた男が、会社の金を30年間使い込みです」（作例）のように、可能だと思われる。なお、阪田（編著）(2003:37)には、「漢語動作名詞や和語動詞連用形がすべて名詞述語として用いられるわけではない」との記述があり、「明朝出発だ」「毎回出席だ」は言えるが、「彼は活躍だ」「A社は発展だ」「彼は迷いだ」「彼は今出かけた」のような言い方はないとしている。また、必要な概念だけを表す名詞述語文を多用すると、談話に「引き締まった感じ」を与えるとの指摘がなされている（阪田（編著）(2003:36-37)）。

<sup>9</sup> 例えば「動名詞 (VN) + です」文（「フィギュア界のエースが復活です」「現地を緊急取材です」等）の場合は、「VNする／した」「VNすることになった」「VNしよう／しなければならない」などの意味を表す。動名詞以外の「名詞 (N) + です」文（「老舗料亭に問題発覚です」「日本最初の公立小学校でお別れ会です」等）の場合は、「Nで表される物事・事態が|起こった・生じた／起こっている・生じている／起こる・生じる|」という意味を表す。動名詞以外の「名詞 (N) + です」文がガ格の補語を伴う場合（「歌手の××さんが交通事故です」等）には、「ガ格で表される主体がNで表される動き・事態を|起こした／起こしている|」の意味になる場合がある。

<sup>10</sup> ただし、メイナード(2005)では、もっぱら「だ」「です」の機能に着目した分析をしており、このような文を「『を／に』等の格助詞を伴う補語＋動名詞 (VN) / 感動詞相当句＋です」

そこでは、このような「です」「だ」は、話し手の“今の状態を肯定して断定する”という発話態度を伝える「指標」として機能しており、話者が肯定的な断定を通して強く言い切り、その確信や強調を伝える働きをするものであるとしている。

ただし、そこに挙げられている例が必ずしも十分であるとは言えないこともあり、このような文が、話者が「意図的に断定する」態度を伝えるものであるとするだけでよいのか、その記述で十分であるかどうかは検討の余地があると思われる。

確かに、「です」にそのような「話者の意図的な断定」の態度を示す働きがあったとしても、エッセイやブログなどにおいて、なぜこのような「です」を伴う表現形式が多く見られるようになってきているのだろうか。そのような断定の形式を用いる話者の意図は何かについては探る必要があるだろう。

いくつかの実例を見てみると、話者はむしろ、「よろしく」「ありがとう」などの言葉をそのまま直接的に相手に言うことや、あるいは感謝や感動などの気持ちをストレートに聞き手に伝えることを避けているのではないとも思われる。「です」のような「話者の断定」を伝える表現形式を用いることで、むしろそこに述べられる感謝や感動があくまで“自分”の感じ方であるに過ぎないということを示し、直接的な働きかけによって生じる聞き手への心的負担などを上手に避けながら、かつ自身の心情を表現するという機能を果たしているのではないだろうか。「よろしくです」などの場合も、「よろしくお願いします」などの直接的な依頼表現の形式をとらずに、あたかも話し手自身の独り言であるかのような述べ方をするすることで、聞き手に与える心的負担を抑え、ひいては依頼に対する反発や拒否、困惑やとまどいなどの感情が聞き手に生じることも、避ける働きをしているのではないだろうか。

このような文が現れる前後の文脈を観察し、話者の表現意図についてさらに探る必要があるだろう。

## 4 ブログに見られる「(動名詞(VN)／感動詞相当句)＋です」文

### 4.1 検索の対象とする動名詞および感動詞相当句

本稿では、まず、現代語約8万語を意味分野ごとに分類している『分類語彙表(増補改訂版)』(国立国語研究所(2004))をもとに、対人的な「好悪・愛憎」、「敬意・感謝・信頼」、また「自信・誇り・恥・反省」「欲望・期待・失望」「注意・認知・了解」など

---

のような共通の型を持つ“構文”として一括りにしてとらえ、その機能を探るという方向性はとっていないと思われる。

を表す名詞の中から、候補となる動名詞をいくつか抽出した<sup>11</sup>。

ブログを対象とするサーチエンジンを用いて、実際にそのいくつかを「VN です」の形によって検索してみた結果、比較的件数の多く見られるものとして、ここでは「～に感謝です」「～に期待です」「～を反省です」を取り上げ、考えていくことにしたい。また、感動詞相当句の中からは、同様にいくつかの例を実際に検索してみた結果、「～をよろしくです」「～{を／に}ありがとうございます」を例として取り上げることにする。

なお、ブログ検索を行った期間は2010年10月であるが、当該のブログ記事がいつ書かれたものかについては、URLとともに個別に例文末尾に記すこととする。

#### 4.2 「動名詞(VN)+です」文：「～に感謝です」「～に期待です」「～を反省です」

ブログを対象としたサーチエンジンを用いて検索した結果、『{を／に}』等の格助詞を伴う補語+動名詞(VN)+です」文の例として、「～に感謝です」「～に期待です」「～を反省です」には、以下のような実例が見られた。(以下、当該の「動名詞(VN)+です」に下線を付して示す<sup>12</sup>。)

- (4) イーグルスの4代目監督に星野氏の就任が正式に決まり、「ゴールデンイーグルス星野監督」の誕生となりました。快く引き受けていただいたこと、はるばる仙台に来てくれることに感謝です。会見も行われましたが、ああいう笑顔での会見は好感が持てますね。明日はドラフト。誰を1位指名するのか、そして引き当てることは出来るのか。

(<http://plaza.rakuten.co.jp/ichinao0717/diary/201010270000>) (2010年10月27日)

- (5) 去年は行かなかった「フライ・イベント・イン・NAGOYA」に今年は行ってきました。そこで感じたいくつかを書いてみます。まず、何と言ってもイベントを実行された関係者の方々に感謝です。ものすごく大変だったと思います。熱い気持ちが参加した人々に伝わったんじゃないかと思います。

(<http://bluegrassparty.blog122.fc2.com/blog-entry-310.html>) (2010年10月28日)

<sup>11</sup> 「感謝する」「感動する」「感激する」「期待する」「注目する」「激怒する」「反省する」「迷惑する」「我慢する」「意識する」「評価する」「躊躇する」等を候補として抽出した。

<sup>12</sup> 以下、例文には実例を挙げるが、採取した例がウェブ上のブログ記事であることから、それらの中には句読点の付されていない文章や、段落以外の箇所改行やスペースを多用している文章、および文末等に絵文字を挿入している文章なども見られた。それらを例として掲げる場合には、適宜改行を削除し、改行位置やスペースで区切られた箇所に句読点を補い、絵文字を省略して載せるなどの加工・整形を施している部分がある。

- (6) アメリカのスミソニアン美術館で Norman Rockwell の特別展示会をやっていることを Blog お友達の ziggy さんに教えて頂いたので楽しみに行ってきました。[中略] 今回特別にルーカス氏、スピルバーク氏の個人所有の大切な絵を一般に公開してくれたのには、感謝です。  
([http://blog.goo.ne.jp/philly\\_2005/e/bcedba948afbd0c4f7e54690c151809a](http://blog.goo.ne.jp/philly_2005/e/bcedba948afbd0c4f7e54690c151809a))  
(2010年10月27日)
- (7) でも関係者の様子を見ると、どこも言えることは皆さん「元気一杯！」です。また、その帰りにちょうど畑作業をしている知り合いに出会い、「落花生掘りやってみる？」と言われ、久しぶりに土いじりをしましたが、いろいろなことはやってみないと分からないことが多く、また同じことをすることで気持ち伝わるということを実感します。今日も、元気一杯の皆さんとの出会いに感謝でした。  
(<http://nissinforever.blog90.fc2.com/blog-entry-1205.html>) (2010年10月24日)
- (8) 2日間のボストン美術館、十分にお伝えできませんでしたが大満足の2日間でした。[中略] 本当にツアーだったら「さっと!!」って感じでしょう。その光景を見てやはり私たちは「贅沢な旅」をしていることに感謝でした。  
(<http://yasukon20.exblog.jp/11452297>) (2010年10月21日)

「～に感謝です」「～に感謝でした」のいずれの形も見られる。「～を感謝です」の形はほとんど見られなかった。通常の談話の展開としては、何らかの経緯・事情について語った後に、しめくくりとして感謝の気持ちを述べるということが一般的に想定される。このことから、特に「～に感謝でした」という文は、(7) (8) のように、あるまとまった内容を持つ談話の終了部分に現れ、しめくくりの機能を果たしていると思われる例が観察された。

- (9) 今日は、村尾酒造さんの「薩摩茶屋」を開栓しました。[中略] 香ばしく甘い香りがしたのですが、ロックで飲んでみると、開栓したてのせいかどちらかという苦みが感じられ、香ばしさも甘みもあまり感じられませんでした。開栓後の風味の変化に期待です。  
(<http://muchoo.blog41.fc2.com/blog-entry-1522.html>) (2010年10月25日)
- (10) 東京ゲームショウの際にソニーが開催した展示の裏側にて「PSP2」という新型のハードが存在したそうで、表に出て展示されることはありませんでした

が、それを見たところによると背面に大きなタッチパネル、2本のアナログスティック、画面は従来のPSPよりも1インチほど大きくHDとして売り込んだとのこと。[中略]本当に存在するのかも分かりませんが、ソニーの次世代の携帯ゲーム機の登場に期待です。

(<http://nataxtheand.blog90.fc2.com/blog-entry-780.html>) (2010年10月26日)

- (11) さて、もう一つ、大阪の名物が上海に登場しました。そう、あの「堂島ロール」の「モンシュシュ」です。[中略]こちらにも、結構なお客が入っていました。今のところ、日本人のお客さんが多かったようですが、いろいろな洋菓子もあるため、今後の展開に期待ですね。

(<http://blog.explore.ne.jp/shanghai/45609.html>) (2010年10月25日)

- (12) 一気に冷え込みましたねー！八幡平アスピーテラインは今秋はじめて通行止めだったとか。そして、我が夏油高原にも雪が！昨シーズンは滑り初めが12月中ごろと遅かったですから、今シーズンは11月からの営業に期待ですね！

(<http://getoski.blog108.fc2.com/blog-entry-105.html>) (2010年10月26日)

- (13) 後半はより積極的にくるであろうオランダに対し、日本は如何に少ないチャンスでゴール前に進出するか、そしてそれだけのスタミナはあるか、に期待でしたが立ち上がりの8分、こぼれ球からスナイデルが速いミドルシュートを日本ゴールに突き刺し、ついにオランダが先制。川島も反応はしていましたがヒスティンクも及ばず。一瞬の隙を突かれてしまいました。

([http://blog.livedoor.jp/bellmare\\_2005/archives/51501084.html](http://blog.livedoor.jp/bellmare_2005/archives/51501084.html)) (2010年6月19日)

- (14) 「名探偵コナン 漆黒の追跡者」みてきました。今日から公開なのですよ。[中略]今回は黒の組織にスポットが当たってるので展開に期待でした。観た感想は昨年の映画よりも今回が上回りました。面白かった。

(<http://moon.ap.teacup.com/okiraku-panda/1431.html>) (2009年4月19日)

「～に感謝です」と同様、「～に期待です／期待でした」のいずれの形も見られる。「～を期待です」の形はほとんど見られなかった。「～に感謝でした」が談話の終了部分に現れるのとは逆に、この場合はむしろ(9)～(12)のように、「～に期待です」のほうが、談話のしめくくりの機能を果たしていることが観察される。何らかの経緯・事情について語った後、しめくくりとして「今後に期待しましょう！」という前向きな気持ちを表明して終わるという形となっていると思われる。



(15) ついつい、新しいガジェットに飛びついてしまう自分を反省です。「ペン」や「ノート」に「付箋」など、今までいくつも試してきましたが、結局残るのはほんの僅か。しかも昔から使っているモノばかりです。

(<http://bookreader.blog.so-net.ne.jp/2010-10-28>) (2010年10月28日)

「反省です」は、上記(15)のような「～を反省です」の形は少なく、実際には補語を伴わない「大いに反省です」「深く反省です」「ただただ反省です」のようなものや、あるいは「…と反省です」のように、引用節を伴うものが多く観察された。引用節を伴うのは、例えば以下のような例である。

(16) アロマオイルを楽しめる季節になりました。お気に入りの香りを楽しみながら作業するのが好きなのですが、先日アロマポットを落として割ってしまいました。もっと落ちついて行動しなくては・・・と反省です。

(<http://dropcafe.blog.fc2.com/blog-entry-368.html>) (2010年10月27日)

(17) 工事初日の夜、痰がからんだ咳、翌日には喉が真っ赤に腫れて、唾を飲み込む度にズキン！と痛みました。[中略] もうワンランクアップさせる為には、せめて活性炭マスクに埃をカットできるマスクを重ねるべきでした。(症状が出てからは使用) 防毒マスクもあるのに、危機感が足りなかったと反省です。

(<http://huukumonmo.exblog.jp/12132917>) (2010年10月25日)

(18) 今日、無事に試験を終えました。[中略] 現場を知らないから、経験ないからと言ってしまうと完全な言い訳になってしまいますが、そこをクリアしなかったな…と反省です。

(<http://blog.goo.ne.jp/momo27s/e/a2c0211827a0206ec3f64cd7fff04ee0>)

(2010年10月24日)

「反省です」の場合は、その語彙的意味からも、聞き手に語りかけるというよりも、むしろ話し手自身の独り言に近い形で現れている。その表す意味は単に「反省しています」ということではなく、何らかの点について「反省しなければなりませんね」と、自分に対する戒めを表明する働きをしていると思われる。

4.3 「感動詞相当句+です」文：「～をよろしくです」「～{を／に}ありがとうございます」  
「『を／に』等の格助詞を伴う補語+感動詞相当句+です」文の例としては、「～を

よろしくです」「～ {を／に} ありがとうございます」を対象にブログを検索し、以下のような実例を採取した。(以下、当該の「感動詞相当句+です」に下線を付して示す。)

- (19) 美味しいご飯を食べたい方に。特選米。厳選米。こだわりのお米をご自宅へ直送いたします。[中略] にはともあれ、お米の通販「タカダ・ライス」をよろしくです。

(<http://kimamaniblog.seesaa.net/article/144998639.html>) (2010年3月29日)

- (20) 村瀬さんがお持ちなのは、昨年9月発売の「DAY BY DAY」ベルウッド・レコードよりの発売です。いい曲歌っておられます。[中略] ジャズ・アルバム「DAY BY DAY」をよろしくです。

(<http://jazzmimura.blog18.fc2.com/blog-entry-656.html>) (2010年2月9日)

- (21) 9月12日に行われた「トレンドマイクロ ウイルスバスター 2009 発売記念ブログイベント」の参加報告です。[中略] 余談も多くなっちゃいましたが、トレンドマイクロ ウイルスバスター 2009 をよろしくです。

(<http://ameblo.jp/nx-station/entry-10138777191.html>) (2008年9月13日)

通常の談話の展開としては、やはり何らかの経緯・事情について語った後に、最後のしめくくりとして「よろしくお願ひします」という挨拶を述べるのが一般的に想定される。このことから、「～をよろしくです」も、あるまとまった内容を持つ談話の終了部分に現れ、しめくくりの機能を果たしていると思われる例がほとんどである。

ただし、「よろしくお願ひします」とストレートに依頼するのではなく、ここでは「です」という話者の断定を表す形式が用いられている。「よろしく頼みたい」という心情をむしろ依頼表現という形をとらずに表明することで、聞き手に対して心理的な負担を与えることを避けると同時に、拒否や反発、とまどいや困惑などの感情が聞き手に生じ、結果的にそれが話者自身に返って来ることをも避ける働きをしているのではないと思われる。依頼行動に伴って通常想定されるやりとりに関し、そこから生じる心理的負担等をあらかじめ避けるという働きをしているのではないだろうか。

- (22) うちのみかんの樹にも実りの秋がやってきました。[中略] 今年は猛暑の影響か、タケノホソクロバ大発生が起こり、背後にある竹軍団が葉を全部食べら

れてしまったこともあり、みかんもゆずも期待していなかったのですが、黙って実を結び、しっかりと育ててくれています。自然の恵みにありがとうございます。

(<http://blog.smileworld.main.jp/?eid=1040723>) (2010年10月28日)

- (23) PK戦までハラハラドキドキが入りすぎて肩がこっちゃいました。ベスト8に残れなかったことは残念でたまりませんが、今回の日本代表選手のプレーはもちろんのこと素晴らしいチームワークとサムライ魂にありがとうございます。

(<http://yaplog.jp/junichirou/archive/586>) (2010年7月1日)

- (24) やはり、彼の3年間を支えてくれたのは学校関係者(親は縁の下の力持ちである)。恩師を始め、同級生や後輩たち楽しい思い出をありがとうございます。いろいろ支えてくれて、ありがとうございます。

(<http://experience.ti-da.net/e2015773.html>) (2008年3月9日)

- (25) 私は今年の24日、25日は地元から友達夫妻が遊びに来てたので観光案内をしたりして一緒に過ごしました。[中略]東京に来てから一番、色々なクリスマス体験した二日間でした。逆に、友達夫婦に素敵なクリスマスありがとうございますですね。

(<http://ameblo.jp/hiro1226/entry-10062131922.html>) (2007年12月25日)

「ありがとうございます」は、上記(22)～(25)のような「～{に/を}ありがとうございます」の他に、「～てくれて、ありがとうございます」のように感謝の気持ちの理由を述べるものや、格助詞を伴わない「応援ありがとうございます」「お知らせありがとうございます」「コメントありがとうございます」「アドバイスありがとうございます」という形のものや、補語をとらない「こちらこそありがとうございます」「わざわざありがとうございます」のような形のものが多く観察された。

また、以下のように「ありがとうございました」の形も観察される<sup>13</sup>。この場合も「～てくれて、ありがとうございました」と理由を述べるものや、格助詞を伴わない「ご協力ありがとうございました」「フォローありがとうございました」、補語をとらない「今までありがとうございました」「～さん、ありがとうございました」のような例も観察された。

- (26) 金曜日は仕事で東京出張。[中略]夜は友人T氏がセレクトしてくれたバーへ。東京で最初に就職した会社の同僚だけど、相変わらず頭の回転が早い。楽し

---

<sup>13</sup> ただし、「～をありがとうございました」は見られるが、「～にありがとうございました」は見られなかった。

い夕食をありがとうでした。

(<http://d.hatena.ne.jp/osiire/20090117>) (2009年1月17日)

- (27) 一度は食べてみたいと思ってた花畑牧場の、生キャラメル&生キャラメルトリュフブラックをお土産に頂きました～。[中略] 思いがけないお土産をありがとうでした。

(<http://plaza.rakuten.co.jp/tsunmama/diary/200809060000>) (2008年9月6日)

このような「～|を／に| ありがとうです／ありがとうでした」も、あるまとまった内容を持つ談話において、その終了部分に現れる例が多く観察される。やはり何らかの経緯・事情について語った後に、最後のしめくりとしてお礼を述べるという談話構造があるためと思われる。

ただし、ここでは「ありがとうございます／ありがとうございました」とストレートに聞き手に対して感謝を述べるではなく、「です」という断定の働きを持つ形式によって、あくまでその感謝の気持ちは話し手側の考えとして表明される形となっている。このような形式を用いることで、感謝の気持ちを話し手自身が再確認していることを示すというような表現意図も感じられる。

## 5 まとめ

以上、本稿では、新聞の投書欄や雑誌のエッセイ、あるいはウェブ上のブログ記事等に特徴的に見られる「『を／に』等の格助詞を伴う補語+ {動名詞(VN)／感動詞相当句} +です」という文について、その意味・機能について考察を行った。具体的には、「～に感謝です」「～に期待です」「～を反省です」および「～をよろしくです」「～|を／に| ありがとうです」を例として取り上げ、ブログを対象としたサーチエンジンを用いて実例を検索し、このような文が現れる前後の文脈を考慮して、この表現を支える話者の心的メカニズムについて考えた。

この構文の形式的・意味的特徴は以下のようにまとめられる。

- (28) 形式的特徴：

- ・「{動名詞(VN)／感動詞相当句} +です」の形をとる。
- ・通常の名詞文とは異なり、「を／に」等の格助詞を持つ補語を伴う。
- ・過去形(「～でした」)では現れることがあるが、否定形では現れない。

(29) 意味的特徴：

- ・新聞の投書欄や雑誌のエッセイ、あるいはウェブ上のブログ記事等に特徴的に観察される。
- ・「です」が話者の肯定的断定の発話態度を伝える機能を持つことから、当該の動名詞や感動詞相当句の表す感情・心情は、あくまで話し手自身の考えであるという形で表明されることになる。直接的な訴えかけによる聞き手への心的負担、結果的にはそのことから生じる話者自身の心的負担等を避ける働きがあるのではないかとと思われる。
- ・形式によっては、あるまとまった内容を持つ談話の終了部に現れ、しめくくりの機能を果たしていることが観察される。

鈴木(2010)で考察の対象とした、ニュース報道に見られる「{動名詞(VN)／名詞(N)}+です」文と、本稿で考察の対象としたエッセイやブログ等に見られる「{動名詞(VN)／感動詞相当句}+です」文は、いずれも「が／を／に」等の格助詞を伴う補語を備えた名詞文となっている。

両者は名詞文としての特異な形が共通しており、また、比較的最近多用されるようになったと思われる形であること、テレビのニュース報道や、ウェブ上のブログや新聞・雑誌の投書やエッセイ欄など、その観察される環境が特徴的に限定されていると思われることなども共通している。

ただし、観察した限りでは、両者の持つ意味・機能は異なっている。ニュース報道においては、このような名詞文は、何らかの新しい動き・変化があったこと、あるいは事態が何らかの新しい局面を迎えたことを新しい情報として聞き手に伝えるという働きをしている。一方、ブログ等においては、むしろ直接的な訴えかけを避け、聞き手に心的負担等をかけずに、結果的には話者自身の心的負担も避けながら、話者の心情を表明する働きがあるのではないかとと思われる。

形式的な共通性をふまえた上で、このような名詞文の意味・機能をどのように統一的にとらえるべきか、次段階においては、構文文法(Construction Grammar)<sup>14</sup>の観点から、さらに考察することを課題としたいと考える。

---

<sup>14</sup> Goldberg(1995)等による。「構文」(construction)とは、「意味と形式との対応物」であり、特定の形式に特定の意味が結びついて一つのまとまりをなしているものを指す。(河上他(2001: 313))

## 引用文献

影山太郎 (1993) 『文法と語形成』 ひつじ書房

国立国語研究所 (2004) 『分類語彙表 (増補改訂版)』 大日本図書

阪田雪子 (編著) 新屋映子・守屋三千代 (著) (2003) 『日本語運用文法－文法は表現する－』 凡人社

鈴木智美 (2010) 「ニュース報道における『動名詞 (VN) / 名詞 (N)』 + です』 文について－『現地を緊急取材です』『老舗料亭に問題発覚です』－」 東京外国語大学留学生日本語教育センター 『留学生日本語教育センター論集』 第 36 号 pp.57-70

益岡隆志・田窪行則 (1992) 『基礎日本語文法－改訂版－』 くろしお出版

メイナード、泉子・K (2005) 『[日本語教育の現場で使える] 談話表現ハンドブック』 くろしお出版

Goldberg, Adele E. 1995. *Constructions: A Construction Grammar Approach to Argument Structure*. Chicago: The University of Chicago Press.

(河上誓作・早瀬尚子・谷口一美・堀田優子訳 『構文文法論 英語構文への認知的アプローチ』 研究社 2001 年)

## 検索エンジン

Yahoo! ブログ検索 (<http://blog-search.yahoo.co.jp/>)

Google ブログ検索 (<http://blogsearch.google.co.jp/>)